

# '18.4

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行人 兵庫県商工会連合会  
代表者 志智宣夫  
発行住所 神戸市中央区花隈町6番19号  
☎078(371)1261(代)650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 足立 誠  
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植  
会員の購読料は会費に含んでおります

第728号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成29年度 スローガン

## 商工会は行きます 聞きます 提案します



▲県青連・池田副会長の開会宣言により50周年記念大会が華々しく幕を開けた

## Contents

- 県連合会Letter 2~3頁
  - ・商工会管理者研修会(事務局連絡会議)
  - ・第11回アグリフードEXPO大阪2018
  - ・第15回シーフードショー大阪
  - ・働き方改革について(コラム)
- 県青連・県女性連創立50周年記念大会 4頁
- 持続化補助金活用事例 5頁
- 兵庫県からのお知らせ 6頁

昭和42年9月に兵庫県商工会青年部連合会並びに兵庫県商工会婦人部連合会(当時)が産声をあげて以来、それぞれの組織活動を通じて県連合会の一翼を担い、県内商工会青年部並びに商工会女性部とともに、地域商工業の振興発展と地域の福祉の増進をめざし、各種の事業を展開してきた。

平成29年度、創立から50年という大きな節目を迎える「繋ぐ歴史 未来に残せ 感動とともに50年」を大会スローガンに記念大会を開催した。

(詳細は4頁)

県青連・県女性連創立50周年記念大会  
繋ぐ歴史 未来に残せ  
感動とともに50年

## 「事業承継支援事業」について学ぶ

平成29年度第2回商工会管理者研修会

県連合会は、2月9日、神戸市・ホテル北野プラザ六甲荘において、平成29年度第2回管理者研修会及び事務局連絡会議を開催した。参加者は県下商工会の事務局長等32人。研修会に先立ち、兵庫県共済協同組合山村専務理事から一昨年より募集を開始した「休業対応応援共済」が南あわじ市商工会を筆頭に兵庫県の契約件数が全国1位である旨の報告があった。研修Ⅰでは、兵庫県産業労働部産業振興局経営商業課 大久保課長が「平成30年度商工会関係事業について」と題し国が平成29年7月に「事業承継5ヶ年計画」を策定し、抜本的に支援体制等を強化することを踏まえ、兵庫県でも中小企業における事業承継支援の更なる強化を図ると述べた。研修Ⅱでは神戸商工会議所 中小企業振興部経営支援センター 竹下課長から「兵庫県事業引継ぎ支援センターの活用について」と題し、全国47都道府県に設置され、意見交換の場で次年度に向けての要望や質問があつた。

▲次年度の県事業について学ぶ参加者

アドバイザーから「商工会職員の『人材育成と人材活用』について」「チーフコーディネーターを核として」と題し県下商工会に在籍する25人のチーフコーディネーターの取組状況や人材育成に欠かせない知恵の「見える化」と「伝承」について話があつた。研修Ⅳでは、(独)中小企業基盤整備機構近畿本部 共済普及課 吉谷課長から「小規模企業共済制度について」と題し、平成30年度から手数料の改正が行われることを中心話があつた。研修会の最後に、大阪国税局消費税課 馬場課長より平成31年10月から導入される「軽減税率制度」について一層の協力依頼があつた。

▲事業承継5ヶ年計画の発表会場の様子

## 第11回アグリフードEXPO大阪2018 第15回シーフードショー大阪

2月21日～22日の2日間、大阪市・アジア太平洋トレードセンターにおいて、第11回アグリフードEXP O大阪2018(主催・日本政策金融公庫)、第15回シーフードショー大阪(主催・大日本水産会)が開催された。全国各地から国内産の農畜産物や水産物を取り扱った事業所757社が出展し、多様な商品を紹介した。また、会期中は商談を目的とするバイヤー等も数多く、2日間で15,876人が来場した。県連合会からは、兵庫県全体で出展募集を行い、アグリフードでは20ブース、シーフードショーでは4ブースを出展した。アグリフードでは、共同出展の事業所に向けて「D o you 農、HYOGO?」をテーマに掲げ、統一のパネル・のぼりや装飾を施し、来場者向けのチラシ、袋等配布し、県内の特産品等を積極的にアピールした。また、シーフードショーでは、「兵庫県商工会連合会」としてのブースを設置し、兵庫県内

の水産関係の事業所のパンフレットや試食食品を取り寄せ、来場者へのPRを行つた。

今回、県連合会では初の試みとして実施した共同ブースの統一装飾により、兵庫県の統一感を生み出し、ブース全体でPRをすることが出来た。

会期中は、多くのバイヤー等からの商談もあり、参加事業所の販路開拓に繋がる絶好の機会の場となつた。県連合会では、来年度も同様に共同での出展を予定している。

▲アグリフード会場の様子

●竹田農場 (たつの市)  
●株式会社博農 (たつの市)  
●株式会社やながわ (丹波市)  
●農事組合法人丹波たぶち農場 (篠山市)  
●株式会社河南勇商店 (篠山市)  
●木田ファーム (淡路ベジタブルグループ) (五色町)  
●淡路島玉ねぎ工房株式会社 善太 (南あわじ市)  
●株式会社嶋本食品 (南あわじ市)  
●株式会社キヤセリンハウス (神戸市)  
●株式会社上野商店 (神戸市)  
●株式会社八雲 (神戸市)  
●株式会社四川麵本舗 (神戸市)  
●小川農園株式会社 (姫路市)  
●農事組合法人八幡宮農組合 (加古川市)  
●株式会社イトー屋 (芦屋市)  
●株式会社イロハジヤパン (川西市)  
●有限会社富田 (吉川町)  
●稻美町ハウス園芸組合トマト部会 (松井農園) (稻美町)  
●稻美町農業青年クラブ (伊藤)  
●ナニワフード株式会社 (上郡町)  
●農園 (稻美町)  
●株式会社森水産 (淡路市)  
●マリヤ医科興業株式会社 (豊岡市)  
●有限会社花房商店 (豊岡市)

●マリヤ医科興業株式会社 (豊岡市)  
●株式会社森水産 (淡路市)

▲シーフードショー会場の様子



# 県内商工会関係者約300名が一堂に集結 県青連・県女性連創立50周年の節目を盛大に祝う



① 関西学院大学応援団総部により華やかに開会 ② 県青連・中西会長の式辞 ③ 県女性連・坂本会長の式辞  
 ④ 功労者表彰の授与 ⑤ 県連合会・志智会長による式辞 ⑥ 中野氏を講師に招き大いに盛り上がった記念講演会  
 ⑦ 50周年記念大会合同委員

県商工会青年部連合会（中西孝之会長）並びに女性部連合会（坂本ひとみ会長）は2月14日（水）、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、県内商工会青年部並びに女性部が一堂に介し「地域の元気づくり」をめざし、より一層の連帯と英知の結集を図るとともに今日まで両部の発展に尽力された功労者等の功績を讃えることを目的に、県商工会青年部・女性部連合会創立50周年記念大会を開催した。

出席者は近畿経済産業局、兵庫県をはじめとした来賓並びに商工会関係者、総勢300人を超えた。

式典開会に先立ち、昨年度青年部・女性部全国組織化50周年記念事業（糸・動画キャラバン事業）として作成した動画を放映し、青年部・女性部の活動紹介を行った。

またオープニングセレモニーとして昨年度、県連合会と産学校の連携協定を締結した関西学院大学の応援団総部のエールや、チアリーディングが催され、会場は一気に盛り上がり、華やかに幕を開けた。

式典では、県連合会・志智会長、県青連・中西会長、県女性連・坂本会長が式辞述べ、そ

孝之会長）並びに女性部連合会（坂本ひとみ会長）は2月14日（水）、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、県内商工会青年部並びに女性部が一堂に介し「地域の元気づくり」をめざし、より一層の連帯と英知の結集を図るとともに今日まで両部の発展に尽力された功労者等の功績を讃えることを目的に、県商工会青年部・女性部連合会創立50周年記念大会を開催した。

出席者は近畿経済産業局、兵庫県をはじめとした来賓並びに商工会関係者、総勢300人を超えた。

式典開会に先立ち、昨年度青年部・女性部全国組織化50周年記念事業（糸・動画キャラバン事業）として作成した動画を放映し、青年部・女性部の活動紹介を行った。

またオープニングセレモニーとして昨年度、県連合会と産学校の連携協定を締結した関西学院大学の応援団総部のエールや、チアリーディングが催され、会場は一気に盛り上がり、華やかに幕を開けた。

式典では、県連合会・志智会長、県青連・中西会長、県女性連・坂本会長が式辞述べ、そ

の後、近畿経済産業局・森局長、兵庫県・井戸知事、兵庫県議会・黒川議長らからお祝いの言葉があり、節目の大会に華が添えられた。

表彰では、

- 優良青年部・女性部4団体
- 功労者4名 ● 感謝状4名
- 優良青年部・女性部11団体
- 功労者10名 ● 感謝状15名
- 優良青年部・女性部12団体
- 功労者23名 ● 感謝状32名
- 優良青年部4団体
- 功労者15名
- 内規による功労者12名
- 優良女性部3団体
- 功労者26名
- 優良青年部4団体
- 功労者10名 ● 感謝状15名
- 優良青年部4団体
- 功労者15名
- 内規による功労者12名
- 優良女性部3団体
- 功労者26名
- 優良青年部4団体
- 功労者15名
- 内規による功労者12名
- 優良女性部3団体
- 功労者26名



▲従業員の皆様

伊孝社長と妻、その息子と2人の娘が切り盛りしている。同館が「持続化補助金」の採択を受けるのは今回で4度目になる。これは兵庫県下で3社しかない。その着眼点とどのような取り組みが評価されたのか、長男で専務の福田正幸さんに話を伺つた。

夏は海水浴、冬はカニ料理を楽しむに多くの観光客が訪れる香美町香住。このまちは約140軒の旅館があり、それぞれの宿が独自の魅力を打ち出して

## ●(持続化補助金活用事例) ● 若い世代をターゲットに 独自サービスを展開

和洋楼しよう香夕

「地域で唯一  
「ファミリーの宿」

「夕香樓しようろう」は元々JR香住駅前で旅館を営んでいた。老朽化に加えて手狭になつたことから、2006年に現在の場所に移転。3階建てで客室10室、食事室9室、1階にはガラス工房がある。



▲ファミリー層向けに改装した室内

今回の補助事業は「アミリー専用食事処を作ることとIT化である。同館は、香住で唯一「アミリーの宿」と謳っており、子育て世代へのサービスに特化している。同館の宿泊客は、客室と

果、数字は前年を上回り、宿泊者数は3カ月間で30人増加した。目の前が海水浴場という好立地で、子どもが喜ぶ砂遊びや目など、手ぶらで来ても楽しめる気配りもされている。また、チエツクイン後、カフェで好きなケーキを食べられるのも同館ならでは。長男の正幸さんは料理人

スマホ対応で  
若い世代を取り込よ

は別の食事室で食事をとするシステムでその一室をファミリー専用食事処と銘打つて小さな子でもが喜ぶような内装に変更。天井には青空、壁にはかわいらしい絵がある。また、冬季の蟹料理につきものの鍋をゆっくり味わえるように、カセットコンロよりも安全な、コンロ付き座卓テーブルを購入した。宿泊客の家族構成から判断して食事室に案内する喜ばれるお客様が多く、最近では、この部屋を指名するリピーターが出始めて、満足度の高さが数字に現ってきた。

商工会のアドバイスを受けて、持続化補助金のほかに経営革新計画も2回認定されている。

「個人で情報収集するには限界があります。新しいものを取り入れるときに、一歩踏み出すきっかけをくれるのが商工会です」と、最初の持続化補助金で作つ

顧客の利便性優先で  
機会損失が減少

長年個人商店として旅館を經營していたが、商工会との出会いによって法人化を選び、次々と新しいことに取り組んでいく。「何を改善すれば集客につながるのか、今足りないものは何かを相談しています」と専務は、商工会のアドバイスを受けて持

A photograph of a display case containing several types of Japanese desserts. On the left, there are small fruit tarts with various toppings like strawberries and kiwi. In the center, a large, dark-colored roll cake is displayed with a slice cut out to show its interior. To the right, there is a long, thin roll cake topped with strawberries and cream. A sign above the display reads "ベリーロール" (Berry Roll) and "1500円". The price "500円" is also visible on the left side of the display.

▲彩り豊かなケーキが並ぶ

長女の好枝さんは、パティシエとしてホテルの1階でカフェを運営、次女の幸枝さんは栄養士。それぞれが専門家として旅館に貢献している。

た竹炭ロールケーキのパッケージから、顧客管理の電話CTIシステム、そしてカード決済システムへと活用は続いた。

『伝わらなければ伝えていらないのと同じ』という言葉を肝に銘じて、苦手なSNSでの発信にも力を入れています」その斐あって、楽天トラベルマイスター2016カスタマイズペーパー部門で表彰された。情報は世界を駆け巡る。香住を目指してやつてくる人はさらに増えるに違いない。

**【企業概要】**

**社名**／夕香樓しょうわ  
株式会社

**代表者**／福田 伊孝

**住所**／兵庫県美方郡  
香美町香住区  
七日市312-1

HP: <http://www.yuuwa-shouwa.com/>

# 県政150周年記念事業について

兵庫県は、本年7月12日に150周年の節目を迎えます。歴史や文化・気候・風土が異なる五国が一つとなり、それぞれの個性を發揮し多様性を持ちながら、時に連携して150年の歩みを積み上げてきました。

この節目の年を迎えるにあたり、県民一人ひとりが、これまで積み重ねてきた歴史や先人の偉業を振り返るとともに、超高齢社会の中で、地域のポテンシャルを引き出し、地域の持続可能性を維持していくかといった新たな課題を共有し、参画と協働により兵庫の未来を確かにものにしようとするのが記念事業の趣旨です。

## 1 記念事業の趣旨

### 〈事業展開方針〉

#### ① 基本的な考え方

i) プレ事業、本事業、継続事業など複数年にわたり、全県エリアで、参加型イベントや行事を重層的に展開します。

ii) 県民・地域団体・NPO・学生グループ・企業・行政などさまざまな主体による参画と協働の実践による事業を展開します。

iii) 150年の歴史の中で繰り広げられてきた営みを振り返り、ふるさと兵庫を再認識し、新たな兵庫づくり、未来への飛躍の確認等を考える機会とします。

## 2 基本方針（抜粋）

1年前シンポジウム(H29・7)、プレフェスタ(H29・11)などを実施し、兵庫の歴史の振り返りや五国の魅力の発信を行うとともに、小学生の作文・図画コンクールや中学向けの「まんがひょうごの歴史」の作成、高校生が考える県政150周年記念事業などにより機運を醸成してきました。

そして、本格実施期間に入った今年は全県にわたり多彩な事業を展開します。その主なものを見示すと次のとおりです。

今から150年前、時代が江戸から明治になるときに合わせて兵庫県は先行県として誕生しました。誕生間もない兵庫県の舵取りを担つた先人たちは、将来が見通せない不安を抱えながら、目の前の課題に積極果敢に取り組み、今日の兵庫県を作りました。

そして現在、人口減少や高齢化の急速な進展、不透明さを増す国内外の社会経済など、先行きが見えない時代を迎えています。私たちも150年前の先人たちと同様、この課題に立ち向かわなければなりません。県民や事業者の皆さんには記念事業の趣旨をご理解いただき、兵庫の未来を明るく元気あふれるものにするため、ともに取り組んでいただきますようお願いします。

## 3 記念事業の概要

### ② 事業期間

・先行実施…平成29年中  
(平成29年12月31日まで)

・本格実施…平成30年1月1日  
(平成31年3月31日)

- 県政百周年に作成した「兵庫県百年史」の続編となる県史の編纂(2022年3月完成予定)
- 県立の美術館・博物館等における県政150周年を記念する展覧会の開催
- 「ふれあいの祭典」を拡充して実施する「ひょうご五国博」の開催
- 兵庫の進むべき方向をとりまとめた「兵庫2030年の展望(仮称)」の策定
- 県府発祥の地の整備促進、等

中小企業の皆様を融資でバックアップ!

兵庫県神戸市中央区花隈町6番19号

兵庫県商工連協同組合

理事長 志智宣夫

中小企業融資  
よろず相談窓口

【お問い合わせ先】中小企業融資よろず相談窓口 ☎078-393-3905

○**兵庫県信用保証協会**

信用保証協会は、中小企業・小規模事業者の金融円滑化のために設立された公的機関です。

さらに、県民連携事業として、県内の地域団体、ボランティア団体、学生グループ、NPO法人等が実施する記念事業のテーマに即した事業について、5万円～50万円の範囲で助成も行っています。